

蔵王の森だより

マンスリータイムズ 平成28年5月

和歌山県立和歌山北高等学校西校舎

Tel.453-1281

☆芽生えたスポ健生の自覚。



4月15日(水)・16日(木)、スポーツ健康科学科1年生の宿泊研修を、今年も紀北青少年の家で行いました。

開校式では、宮本校長先生より「スポーツ健康科学科生としての自覚を持つように」と激励がありました。2日間の研修では、講義や北高体操や集団行動などの実習が行なわれました。講義では、「スポーツ健康科学科とは」から始まり、カリキュラム説明、部活動説明、進路について、生徒が分かりやすいように具体的な説明が行なわれました。参加した生徒全員が最後まですべての研修内容をやり遂げてくれました。



初めてこの研修に参加された先生の感想では、この宿泊研修を行なう前と後では、生徒1人ひとりの意識が大きく変わり、スポーツ健康科学科生としての自覚が芽生え、たくましさを感じられるようになった。とのことでした。

☆みんなとの思い出できました。

4月26日(火)に遠足及び野外活動実習を実施しました(1年生普通科:わんぱく王国、1年生スポーツ健康科学科:野外活動実習、2年生普通科:神戸散策、2年生スポーツ健康科学科:芸術観賞、3年生普通科・スポーツ健康科学科:USJ)。当日は雲ひとつない最高の天気恵まれ、みんなで充実した時間を過ごすことができました。

4月20日(水)～22日(金)にかけて、スポーツ健康科学科3年生は、沖縄へ野外活動実習へ行きました。名護岳登山やスキューバ体験そして地元の方の家での民泊など、普段出来ない体験をすることができました。



※写真:1年生普通科(左)、3年生普通科(中央)、3年生スポーツ健康科学科(右)

☆熊本地震災害募金活動。

4月28日(木)放課後に、ヒダカヤ西脇店にて、熊本地震災害募金活動を生徒会が中心になって行ないました。当日は、強い雨が降る中でしたが、多くの地域の方々に協力して頂きました。結果、110,564円の募金を募ることが出来ました。募金活動に参加した生徒は、地域の方々のやさしさを直接感じることができ、大変貴重な経験を出来たと語っていたのが印象的でした。



また、募金をしてくれた人の中には、募金活動を知ってわざわざ自宅まで戻り、長い時間をかけて貯めた貯金箱をもってきてくれたおばあさんもいて、泣いて感動する生徒もいました。なお、集まった募金は、熊本県健康福祉政策課福祉のまちづくり室の方へ送らせていただきました。ご協力ありがとうございました。